

## 1. 今年度の取組と自己評価

|      |              |
|------|--------------|
| ○…成果 | 課題…▼         |
| A…達成 | B…概ね達成 C…未達成 |

### (1) 教育活動への取組と自己評価

#### ① 学力向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

▼今年度から「モジュールタイム」を導入し、5時間目の授業と合わせて60分授業を実施するなど、弾力的な指導ができるよう昼時間に設定したが、十分な活用には至らなかった。来年度は週3回、朝の時間に設定し、毎時間の指導内容を計画的に実施していく。

○八王子市学力定着度調査（4～6年生）の第1回結果では、すべての学年で市平均を上回る結果（0.9p～5.8p）となった。第2回では、5年生国語で3.1p下回った以外は3.9p～8.0p上回る結果となった。特に4年生では、国語のD層が22%→11%、算数のD層が26%→14%と大きく減少した。地道な基礎学力向上への取組が成果に結び付いたと考えられる。今後も基礎学力の向上をさらに進めていく。

○保護者アンケートの「授業や学校行事への指導」を問う設問では、94%の肯定的評価（前年比△2%）となった。否定的評価3%、わからない3%を減らす努力をしていくことが課題である。

○「家庭学習の習慣化」を図るため、各学年で工夫した取組（自主学習カード、ドリル学習の活用）を実践することができた。

○保護者アンケートの「授業での発問や指導の工夫、ICT機器の活用」という設問の肯定的評価が90%（前年比△1%）となった。家庭学習でのICT機器の活用についても検討を進めていく。

○保護者アンケートの「児童の学習に対する評価は適切・公平である」という設問の肯定的評価が89%（前年同）となった。

○学校運営協議会が主体となった放課後学習支援教室（るり丸教室）を週3回実施し、学習習慣の定着や基礎学力向上を図ることができた。来年度は週4回実施していく予定である。（令和5年度1回、6年度2回、7年度3回と毎年度増加している。）

#### ② 健全な心身の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

▼学校が力を入れて取り組んでいる挨拶・返事について、前期の肯定的評価94%から後期は89%となり、6%下がる結果となった。来年度は児童会等を中心に、児童自身が考えながら実践できる取組を計画していく。

▼保護者アンケートの「道徳教育を含めた教育活動での自尊感情の醸成」という設問では、肯定的評価が89%（前年比▼2%）となった。否定的評価5%、わからない6%を減らしていくことが課題である。

○保護者アンケートの「いじめを許さない学校づくりへの取組」という設問の肯定的評価が85%（前年同）となった。否定的評価8%、わからない7%を減らしていくことが課題である。

○SNSルールの徹底を図る取組として「第一小 SNS ルール」の見直しを行うとともに、「第一小 SNS 家庭ルール」の作成と提出を家庭と連携して実施した。提出率は94%

となり、目標としていた70%を大きく上回った（前年比10%増）。

- 保護者アンケートの「規範意識の醸成」を問う設問では、肯定的評価が94%（前年比△1%）となった。否定的評価1%、わからない5%を減らしていく。
- 各学級においてC4thのメール機能を活用し、欠席児童の家庭への情報連絡をこまめに行うことができた。
- 不登校児童や心配事のある児童への対応では、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）と連携し、対応を図ることができた。

### ③ 特色ある学校づくりの実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- 保護者アンケートの「学習環境整備への取組」という設問では、肯定的評価が86%（前年比△1%）となった。1年生教室前トイレの便器洋式化を行った。南校舎トイレの改修工事要望も併せて行っていく。また、今後も正門に通じる通学路のガードレール設置を要望していく。
- 環境教育・食育・福祉教育・租税教育・健康教育は予定通り実施することができた。食育に関する栄養指導を全学年全学級で実施した。また、初めて給食試食会を実施した。来年度は2回実施する予定である。
- 読書指導の充実として語り部の会を活用した昔語りを実施した。学校共済会の図書寄贈事業に企画書を提出し、2年連続で図書寄贈を受けることができた。また、図書ボランティアによる図書室の環境整備を図ることができた。
- 教職員の働き方改革として、自動応答機の設置や通知表の見直しを行うことができた。

### ④ 信頼される学校づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- サービス事故防止研修については、年3回の研修を年4回に増やし、職員会議等を活用して日常指導の徹底も図ることができた。
- LAS-E研修についても自主的に実践し、校内の節電・節水等に努めた。
- 私費会計については事務と連携し、マニュアル化を進め、サービス事故防止と働き方改革に努めた。

### ⑤ 開かれた学校づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- ▼保護者アンケートでは、学校だよりと学級・学年だよりで時数の誤表記について指摘をいただいた。来年度は「学校だより」に一本化し、学年だよりは必要に応じて発行する形に改善していく。
- 家庭との連携を充実させるため、ホームページや学級だより等による積極的な情報発信を行った。保護者アンケートの「情報提供」を問う設問の肯定的評価は97%（前年比▼1%）であった。数値はやや下がったものの、高い評価を得ている。今後もホームページの更新をはじめ、適切な情報提供を行っていく。
- 保護者アンケートの「小中一貫教育への取組」という設問では、肯定的評価が86%（前年比△4%）と年々増加している。小中の連携事業も大幅に増えた（体育祭・運動会参加、作品展、合唱交流など）。今後も小中一貫教育の取組を積極的に進めるとともに、保護者・地域への周知を行っていく。
- 学校公開は予定通り実施することができた。学芸行事は今年度から展覧会として実施し、アンケートでは多くの称賛の声をいただいた。来年度も体育的行事、学芸的行事のさらなる改善を図っていく。

⑥ 組織的な学校経営を進める・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B

- 学校経営者会議（企画会議）では、経営課題を中心に管理職・主幹教諭等で情報共有を図りながら、臨機応変に対応策を講じることができた。
- 学校運営協議会委員と全教員が顔を合わせる機会を設け、保護者や地域のニーズについて情報交換を行い、指導の充実につなげることができた。
- 道徳授業地区公開講座では、帝京大学小学校の校長を講師として招聘し、子育てについての講演を実施し、大変好評であった

(2) 重点目標への取組と自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 総合 B

- ①各教科・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
- ②道徳教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
- ③外国語活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
- ④総合的な学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
- ⑤特別活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
- ⑥小中一貫教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・ B
- ⑦学校からの情報発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・ A